



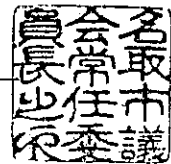
平成28年5月26日

名取市議会

議長 郷内良治様

建設経済常任委員会

委員長 及川秀



委員会調査報告書(案)

本委員会において継続調査中の事件について、このたび調査を終了しましたので、その調査結果を会議規則第100条の規定により、次のとおり報告いたします。

委員会調査日程

開催日時	場 所	出席委員	欠席委員	説明のため出席した者
平成28年3月3日(木) 自 午後0時56分 至 午後1時46分	議員協議会室	齋 浩美委員 外6名	なし	なし
平成28年3月22日(火) 自 午後2時2分 至 午後2時15分	第2委員会室	齋 浩美委員 外6名	なし	なし
平成28年4月15日(金) 自 午後3時1分 至 午後4時13分	第1・第2 委員会室	齋 浩美委員 外6名	なし	—
平成28年5月10日(火) 自 午前10時 至 午前10時24分	第4委員会室	齋 浩美委員 外6名	なし	なし
平成28年5月26日(木) 自 午後1時55分 至 午後2時30分	第3委員会室	齋 浩美委員 外6名	なし	なし

## 建設経済常任委員会調査報告書

平成28年3月22日、平成28年第2回定例会において議決された本委員会に付託の閉会中の事件について、その調査結果を会議規則第100条の規定により、報告します。

### 1 調査事件

本市では、復旧・復興が進んではいるが、いまだ仮設住宅での暮らしを余儀なくされている方が2,000人余おり、恒久住宅である復興公営住宅の早期完成が望まれていることから、調査を行ったものである。

(付託事件)

(1) 復興公営住宅建設の取り組みについて

### 2 調査の経過

調査に当たっては名取市議会基本条例第18条第1項の規定に基づく関係団体等懇談会を含め、委員会を5回開催し、次のとおりまとめた。

	開催期日	調査内容
第1回	平成28年3月3日	関係団体等懇談会の開催について
第2回	平成28年3月22日	関係団体等懇談会の開催について
(懇談会)	平成28年4月15日	関係団体等懇談会 (名取市商工会工業部会)
第3回	平成28年5月10日	委員会調査報告書の取りまとめ
第4回	平成28年5月26日	委員会調査報告書の取りまとめ

(関係団体等懇談会)

名取市商工会工業部会との懇談会では、平成25年2月に復興公営住宅の建設を地元建設関連業者に発注することについての陳情書が名取市商工会より提出された。東日本大震災復興調査特別委員会の調査において、地元業者にて受け皿が整備されるよう市当局に対して要請を行った。結果、戸

建て住宅については地元業者で組織した一般社団法人名取市復興公営住宅建設推進協議会（以下「協議会」という。）が施工するに至った。

その一連の経過と事業の進捗状況及び今後の取り組みについて説明を受けた。

（進捗状況）

・戸建て住宅について

閑上地区1期90戸については、これまでに77戸が契約済みである。この内の25戸は、平成28年6月完成予定となっているが、一部は最大で半年程度のおくれが見込まれることから、一日も早い完成が待たれる。

閑上地区2期69戸（平成29年5月完成予定）及び同3期98戸（平成30年5月完成予定）についても、今後、契約手続きが進められるものと思われる。

高柳圭田地区50戸は、平成28年第2回定例会へ関係議案が提出され、去る4月15日に起工式が行なわれたが、完成時期については、当初予定の平成28年9月から3カ月程度おくれるとの説明があった。

### 3 調査結果及び意見

復興公営住宅（戸建て）の整備については、造成工事のおくれや労務確保、資材調達の難航などにより、工程の見直しが必要になっている状況は理解するが、公表している入居予定時期までの完成入居に向け、関係部署が連携・調整を図りながら、全力で整備を進められるよう望むものである。

また、復興公営住宅建設現場において、関係者以外立ち入り禁止区域に立ち入り、見学している状況が見受けられる。建設現場内は協議会の管理下にあり、安全対策が講じられているとは思われるが、執行部においては、安全な施工及び管理への協力が必要である。早期完成を待ち望む被災者等のためにも、日程を定めて見学会の機会を設けるなどの配慮を望むものである。

さらに、引き渡し後の復興公営住宅（戸建て）の維持管理に万全を期すとともに、協議会の持続的な運営について、適切な指導・助言に努められたい。

なお、建設工事に当たり、大工職人等の高齢化を初め、工事を担える

技術者の不足が懸念される。種々の技術者並びに職人の人材確保と育成をしていくことが喫緊の課題である。